

令和3年度 愛知県医療療育総合センター県民講座

参加
無料

オンライン開催

※事前申込が必要です

自閉スペクトラム症の特性を知り、 発達をサポートする

日時

令和4年 1月22日(土) 午前10時から

令和4年 2月22日(火) 午前10時まで

開会挨拶 石黒 直樹 (医療療育総合センター 総長)
講演1 「自閉スペクトラム症支援の新しい潮流」
医療療育総合センター 中央病院
児童精神科部 部長 吉川徹
講演2 「自閉スペクトラム症と脳のはたらき」
医療療育総合センター 発達障害研究所
障害システム研究部 部長 乾幸二
講演3 「自閉スペクトラム症と作業療法」
医療療育総合センター 中央病院
リハビリテーション科 科長 小松則登
閉会挨拶 中山 敦雄 (医療療育総合センター 発達障害研究所 所長)

視聴方法

YouTubeでのアーカイブ配信を行います。事前申込(裏面参照)をされた方に視聴URLをメールにて送付いたします。

※事前申込なく視聴することはできません。



Aichi Developmental Disability Center

愛知県医療療育総合センター

令和3年度 愛知県医療療育総合センター県民講座

【テーマ】 自閉スペクトラム症の特性を知り、発達をサポートする

○ 講演概要 ○

講演 1. 「自閉スペクトラム症支援の新しい潮流」

吉川 徹 (中央病院 児童精神科部長)

自閉スペクトラム症のある人への支援については、多くの研究や実践が積み重ねられてくる中で、近年、その方向性が大きく変わりつつあります。そのキーワードとしては「超早期介入」「選好形成」「神経多様性(ニューロダイバーシティ)」「当事者参加」などが、挙げられます。こうした変化はまだ始まったばかりですが、今後、自閉スペクトラム症のある人達の暮らしを大きく変えていく力を持っていると考えています。今回の講演では、このような今、起こりつつある変化について、ご紹介させていただきます。

講演 2. 「自閉スペクトラム症と脳のはたらき」

乾 幸二 (発達障害研究所 障害システム研究部長)

自閉スペクトラム症の原因はまだ明らかではなく、診断は社会的コミュニケーション障害などの行動特性で行います。それぞれの症状には特定の神経心理学的な損傷が想定されますが、今のところ明確な証拠は何もありません。したがって、症状の有無や程度の判断は、評価者に委ねられます。私のセッションでは、脳機能とは何かについて概説し、続いて自閉スペクトラム症の脳機能について現在までに明らかになっている知見について紹介いたします。

講演 3. 「自閉スペクトラム症と作業療法」

小松 則登 (中央病院 リハビリテーション科長)

私は「いち作業療法士」ですので科学的根拠がある最先端のお話は難しいかも知れませんが臨床家として日々の臨床を過ごす中で得られた最前線のお話しをしたいと思います。テーマである「特性をとらえて」という点では一般的には知られるようになったこの疾患群ですが、今回はそれも踏まえて「発達サポート」やセラピストとしてこれまでアプローチしたことや、お子さんから教えていただいたことを含めてお伝えしたいと考えています。

● 申込方法

「あいち電子申請・届出システム」(オンライン申請システム)からお申し込みください。同システムへは、下記URLまたは下記二次元コードからアクセスできます。

URL : https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=39094

● 申込期限 令和4年1月7日(金)16時

● 視聴方法

令和4年1月14日(金)にメールでお知らせする動画視聴URLから、期間内にご覧ください。

(1月19日までにURLが届かない場合は、お手数ですが下記お問い合わせ先にご連絡ください。)

● お問い合わせ先

〒480-0392 春日井市神屋町713-8

愛知県医療療育総合センター 運用部企画事業課(企画・栄養管理グループ)

TEL 0568-88-0811(内線5232) FAX 0568-88-0839



申込フォームはこちら